

## 政文研だより

発行 2024.8月

一般社団法人  
神奈川政経文化研究会

## 【活動報告】

## 河野太郎講演会「夏の陣」

## 【開催日】

令和 6年 7月 27日(土)

## 【開催場所】

平塚商工会議所 2階 平塚市八重咲松風町2-10

## 【開催時間】

受付開始 18時30分

講演会時間 19時～20時30分

※5月に、継続のお願いのお便りをメールにてご連絡いたしました。お支払いがまだな方はどうぞよろしくお願ひ致します。

## 【活動予定】

## 講演会のご案内

日時： 令和6年9月21日（土）

受付 14:30より 開始 15:00より

場所： 平塚市浅間町1-6

平塚八幡宮参集殿1階 松の間

講師： 岩田 清文 氏第34代陸上幕僚長、第33代北部方面総監 を歴任されました

演題：極東有事に備え、防衛力の抜本的強化を戦後最大の危機を迎えた今憲法改正に待たなし

※参加費 1,000円 締め切り9月6日

※ご参加希望の方は山口までご連絡ください

## 【地域の情報】 小田原、海老名など4地点で観測史上最多の雨量

台風10号と暖かく湿った空気による記録的大雨で、1日朝までの72時間に観測された雨量が、小田原市、海老名市、相模原市中央区、平塚市の計4地点で観測史上最多を更新した。小田原市では平年の8月1カ月分の約3倍の雨が降ったことになる。

今回の大雨で総雨量が神奈川県内最多となっている小田原市では1日午前8時現在、72時間雨量が528.5ミリを記録。1976年の統計開始以降で最多となった。

海老名市（439.5ミリ）と相模原市中央区（417.5ミリ）、平塚市（394.0ミリ）でも、72時間の雨量が同年以降の観測記録を塗り替えた。

このほか、山北町や箱根町で430ミリ前後に達するなど、西部の山沿いを中心に雨量がかさんでいる。

住宅の浸水被害は、河川があふれた二宮町や平塚市などで相次ぎ、これまでに床上浸水が23棟、床下浸水は45棟が報告されている。土砂崩れは平塚市や湯河原町、大磯町などで78件、

総務省消防庁によると、1日午後4時時点で、台風による死者は7人、不明1人、関東から九州までの14県で127人が重軽傷を負った。

## 代表理事挨拶

会員の皆様いつもありがとうございます。  
8月になりました、葉月になります。

暦では8月7日に「立秋」を迎えましたが、まだまだ「残暑」は続きます。

8月23日には「ひらつか花火大会」が開催しました。夏の風物詩、花火大会も終われば秋の気配も感じてきます。

まだ「暑さ」も続きます。熱中症対策は万全にお願いします。予期せぬゲリラ豪雨など、気候変動なのか、想定外の雨量も考えられます。日ごろから頭の隅には「異常気象の対応」を気に留めておいてください。

今月も皆で共に健康で豊かな人生を歩んでいきましょう。

一般社団法人  
神奈川政経文化研究会  
代表理事 今村佳広



## 災害が起きる前にできること



電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例（人数分用意しましょう）

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど

トイレットペーパー、ティッシュペーパー、携帯トイレ・簡易トイレ、マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。

※ 自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

### 編集後記

今号も、お読みいただきましてありがとうございます。

先日の、河野太郎講演会「夏の陣」にご参加いただきました皆様ありがとうございます。

ピーク時に比べれば涼しくなってきましたが、まだまだ暑い日が続いていきますので水分補給をしっかりと心がけて熱中症にならないようにしてください。

今回の記事、災害が起きる前にできることですが、皆様はどのような準備をしていますか？我が家も、カセットコンロの準備、また、非常食、お水、ライト、簡易トイレ、軍手、ゴミ袋、ウエットティッシュ、ライターなどをリュックに入れていますが、どこに置くことが一番災害時に使えるのか、災害時に持ち出せるのか考えています。

今後、ご希望の勉強会などございましたら、ご意見をお待ちしております。

一般社団法人

神奈川政経文化研究会  
事務局 山口 尚子



第24号政文研だより  
お楽しみに♪